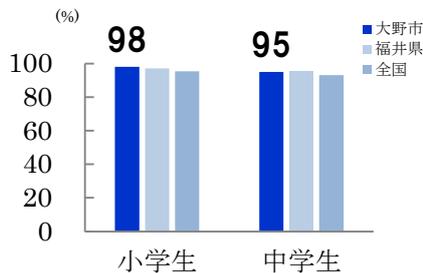


先月号に引き続き、全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせします。

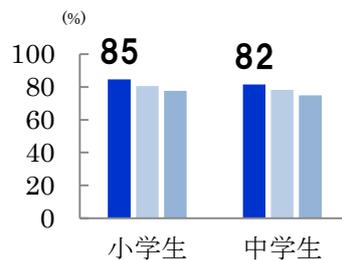
生活や学習に関する調査から

調査の中から、主なものを紹介します。項目(1)～(3)、(6)の数値は、「している(当てはまる)」「どちらかといえば、している(当てはまる)」と回答した子どもの割合の合計です。(4)の数値は、「毎日使用した」「週1回以上使用した」と回答した子どもの割合の合計です。(5)の数値は、「30分以上読書をした」と回答した子どもの割合です。

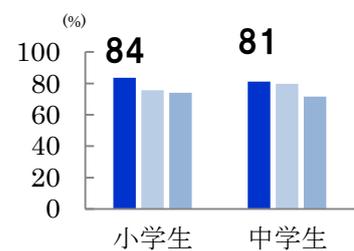
(1) 朝食を毎日食べていますか



(2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

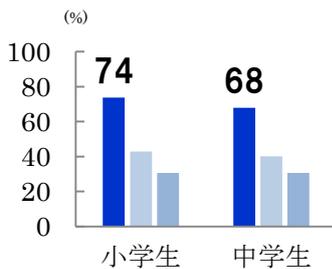


(3) 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、解決方法を決めていますか

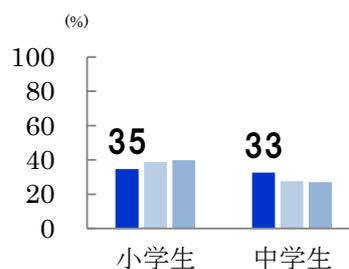


- (1) 「朝食を毎日食べている」と回答した子どもの割合は、小学生が約98%、中学生が約95%でした。小学校はここ数年減少傾向でしたが、今年度は改善されました。
- (2) 小中学生ともに、80%以上の子どもが「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答しています。学校では、引き続き、主体的に学習する授業づくりに取り組んでいきます。
- (3) 小中学生ともに、80%以上の子どもが「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、解決方法を決めています」と回答しています。今後も、協力して日常生活の向上を図ろうとする態度を養います。

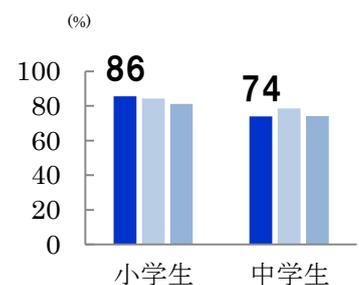
(4) 授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか



(5) 学校の授業以外に、平日1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか



(6) 自分には、よいところがあると思いますか



- (4) 「授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」と回答した子どもの割合は、小学生が約74%、中学生が約68%でした。今後も、ICTを利用した分かりやすい授業づくりを進めます。
- (5) 「学校の授業以外に、平日30分以上読書をしている」と回答した子どもの割合は、小学生が約35%、中学生が約33%でした。さまざまな情報メディアの発達・普及や生活環境の変化などにより、子どもの「読書離れ」が全国的にも指摘されています。家庭での読書タイムを設けてみませんか。
- (6) 「自分には、よいところがあると思いますか」と回答した子どもの割合は、小学生が約86%、中学生が約74%でした。ここ数年増加していましたが、中学生は昨年度より下がりました。この結果を課題とし、各中学校では自尊感情を高める取り組みを進めています。

優しく、賢く、たくましい大野っ子の育成に向け、家庭・地域・学校が連携して取り組んでいけるよう、引き続き市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。